

【研究シーズテーマ】

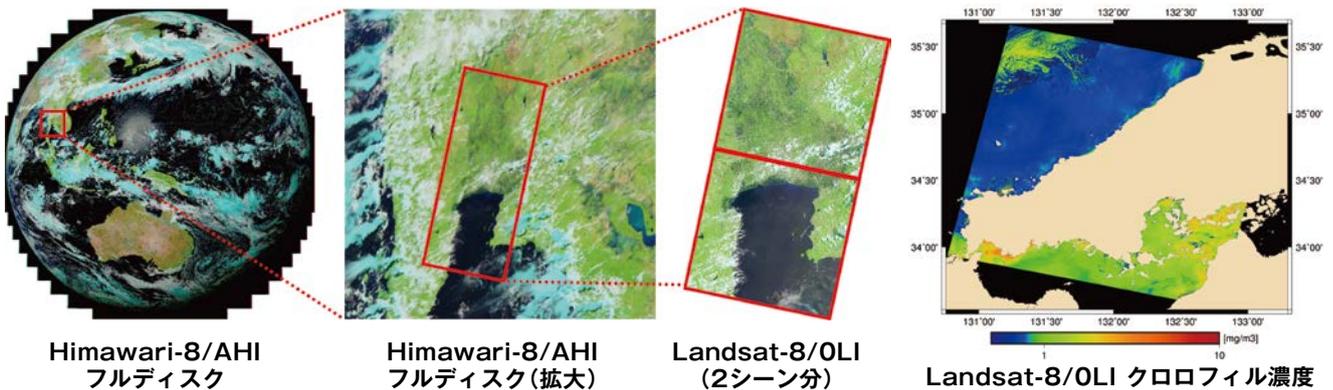
# 地球観測衛星データによる 用途に応じた各種解析法の提案

 環境学部 地球環境学科 教授 **小黒 剛成**

**Keyword**
**リモートセンシング／土地被覆／植生／地表面温度**


## 【研究シーズの概要】

陸地や海域などの広範囲の地表面状態を観測するためには、地球観測衛星データが有効です。しかし、衛星に搭載されたセンサは空間分解能を上げると波長分解能が下がり、波長分解能を上げると空間分解能が下がります。そこで、形状の調査では空間分解能を重視し、特性の調査では波長分解能を重視します。現在利用できるさまざまな地球観測衛星を組み合わせ、土地被覆分類、植生分類、クロロフィル濃度推定、地表面温度計測などの用途に応じた各種解析法を提案します。



複数の衛星データによる複合解析 ©JMA/USGS

©USGS/HIT

## 【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- ハイパースペクトルによる詳細な土地被覆分類・植生分類
- マルチスペクトルによる広範囲のクロロフィル濃度推定
- マルチチャンネルによる高精度な地表面温度計測・海表面温度計測

## 【産業界での展開・用途】

- 地球観測衛星データによる防災分野への応用(浸水被害、土砂崩壊など)
- 地球観測衛星データによる農業分野への応用(植生分類、収穫量など)
- 地球観測衛星データによる漁業分野への応用(海水温、クロロフィル濃度など)

**連絡・問合せ先**

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963  
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail [kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp](mailto:kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp)